

道路メンテナンスの高度化の推進について

－「スマートメンテナンスハイウェイ (SMH:Smart Maintenance Highway)」構想－

1 背景

- 高速道路資産の老朽化（長期保全等検討委員会：昨年11月発足・今年4月中間とりまとめ）
 - 昨年12月の中央道笹子トンネル事故を受けた各機関（国、産業界、学会等）での活発な審議
 - 今年を「インフラ・メンテナンス元年」と位置付け、国も総合的に各種政策を展開
 - 当社としても、維持管理・更新の効率化・高度化は従前から必須かつ喫緊の課題
- ⇒ 以上の背景を踏まえ、SMH構想の実現に向け、全社的に取り組みを推進

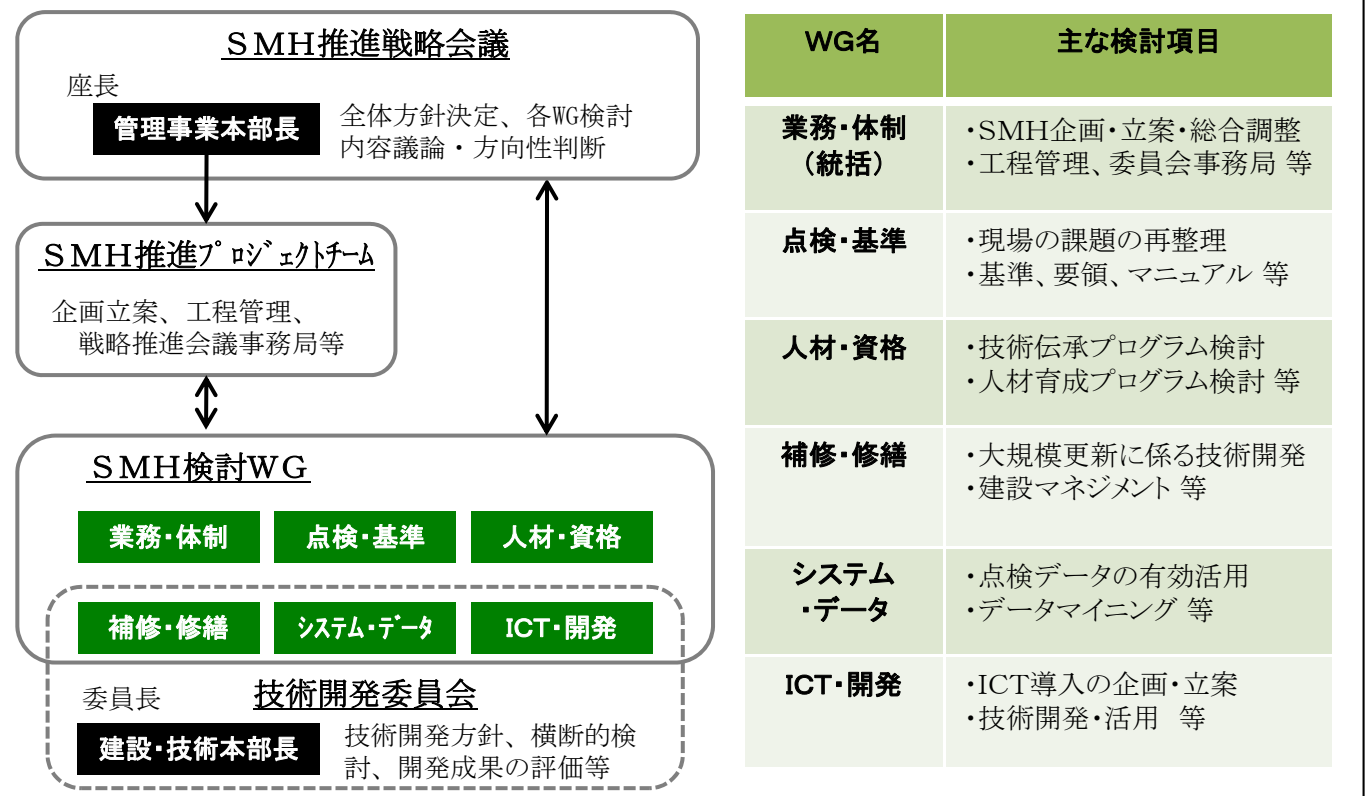
2 SMHとは

- 現場のインフラ管理における諸課題の解決に立脚、密着した検討を推進することが基本
- その中で、長期的な道路インフラの安全・安心の確保に向け、**ICT技術の導入や機械化等を行い、これらが技術者と融合した総合的なメンテナンス体制を構築**し、維持管理・更新の効率化や高度化、着実化を実現
- 2020年度（平成32年度）を目標として、新たに、道路交通管制センターと連動した**「インフラ管理センター（仮称）」の導入**を目指す

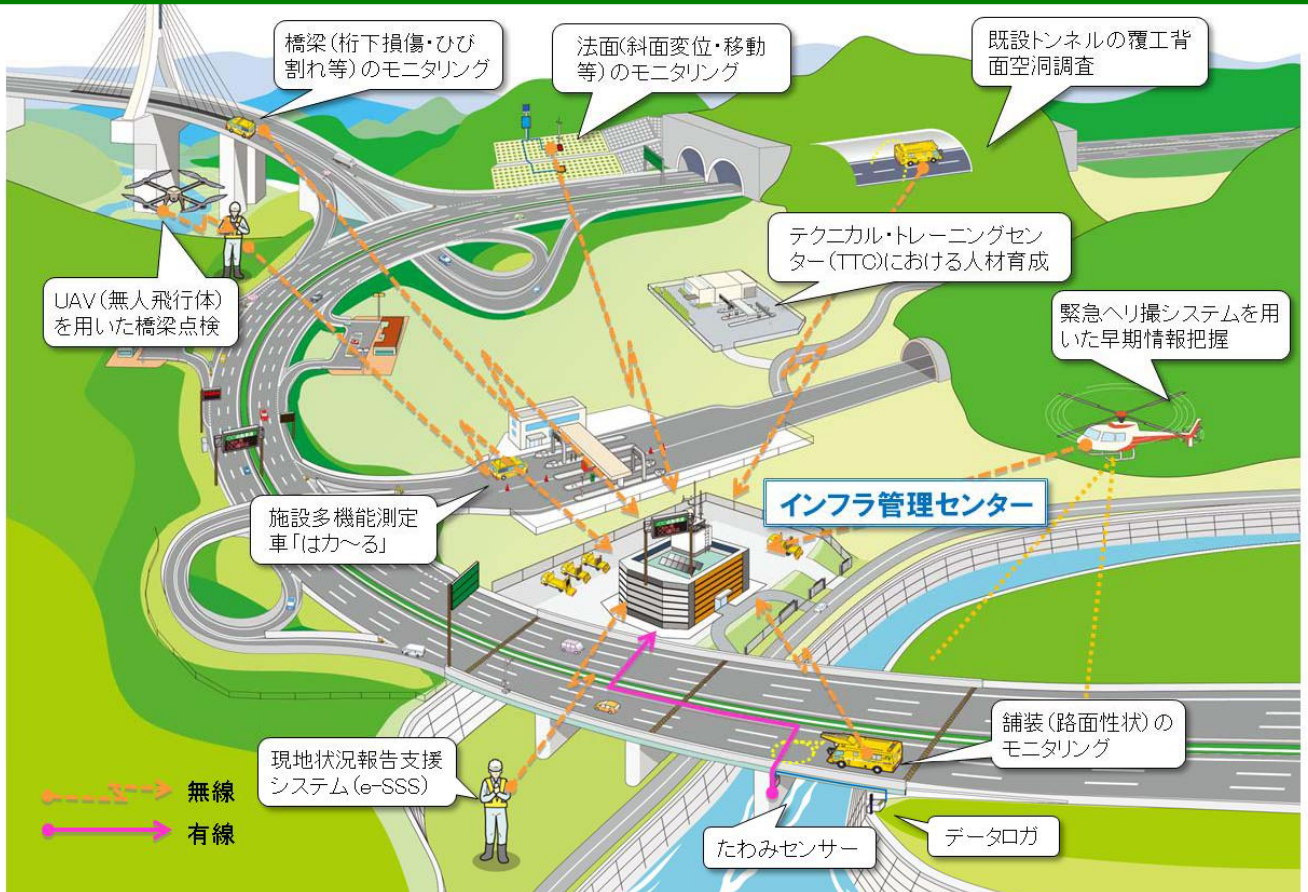


- ◆SMHプロジェクト・ロゴ（スマートメンテナンスハイウェイは商標出願済、ロゴも出願予定）
- 当社の不変的なミッションである『安全』を「濃いグリーン」で、『快適』を「明るいグリーン」で表現し、2つの色彩が重なり、調和することでコーポレートカラーであるネクスコ・グリーンになる配色を採用
- 高速道路をイメージした『8の字』は、無限大を意味し、**全社一丸となって弛まぬ努力で『安全』『快適』を永続的に追及し、確保していく決意**を表現

3 推進体制



SMH構想全体イメージ



主なICT・連携イメージ

